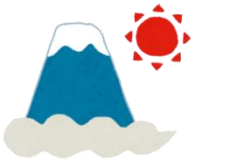
あさか外来通信

H30.1 月号

歯科器具の滅菌と感染症の関係

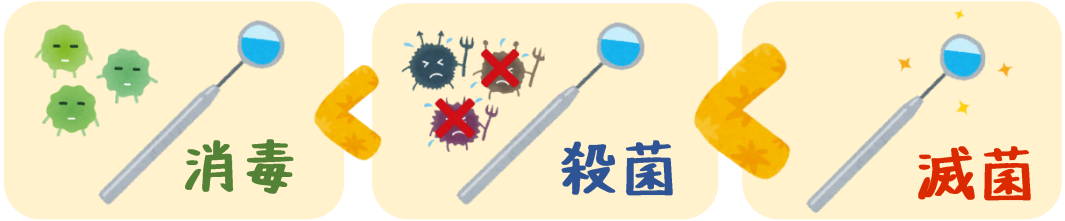


皆さんは、かかりつけの歯科医院をどのように選びますか？ご自宅からの通いやすさや、評判の良さなど色々あると思いますが、“安心して治療を受けられる”というのも大切なポイントかと思います。

歯科治療と感染症

歯科治療では、様々な器具を使用します。治療中に付着した唾液や血液は、患者様から患者様へ病気が感染する原因となります。患者様を感染症から守る為には、正しい器具の取り扱いと、感染対策についての知識が必要になってきます。感染対策は歯科医院における最大の課題と言われていますが、実際どのように行っているのか、患者様の目からはあまり見ることが出来ないのが現状ですね。

消毒・殺菌と滅菌の違い



消毒
特定の細菌を害の無い程度まで弱らせること。人体に有害な物質を除去または無害化する。

殺菌
特定の細菌を殺すこと。病原性や有害性を有する糸状菌、細菌、ウイルスなどの微生物を死滅させる。

滅菌
すべての細菌を死滅させること。増殖性を持つあらゆる微生物を完全に殺滅、又は除去する。

感染対策をどのレベルまで行うのかは、歯科医院によって異なってきます。

当院の感染対策

治療に使用した器具は、まずたんぱくや血液などの付着物を取り除く為に、洗浄・消毒を行います。当院では、ミーレのジェットウォッシャーを使用し、複雑な器具の内部までしっかり洗浄。素手で触っても安全なレベルまで消毒をしていきます。

洗浄が終わった器具は、オートクレーブ（滅菌器）にて滅菌処理をします。当院で使用しているLisaはヨーロッパ最高基準の「クラスB」の滅菌器です。全ての細菌を死滅させた器具は、お口の中に入れても安全です。

近日、歯科用ハンドピースの使い回しが問題になっていますが、当院ではiclave miniというハンドピース専用の滅菌器を導入しております。滅菌の時間が大幅に短縮され、患者様ごとに滅菌済みのハンドピースを使用して治療をすることが可能になっています。

インプラントなどの自費治療に使用する器具の滅菌は、ゲティンゲという世界でも一流メーカーの滅菌器で行います。大型の総合病院などで使用されていることが多く、歯科医院で導入している所はあまりありません。滅菌のレベルを引き上げることは、お口の環境にも大きく影響してきます。

インプラントオペの様子

当院では、皆さんに安心してご通院頂けるよう、徹底した衛生管理のもと治療を行っています。

過去の外来通信・医院についてはこちら

医療法人 寛友会
浅賀歯科医院